

デル・テクノロジーズ： 継続的モダンストレージ

ITリーダーは、マルチクラウド インフラストラクチャ ランドスケープ全体におけるインフラストラクチャ管理の負担を最小限に抑えながら、運用を迅速化し、サイバー レジリエンスを改善するよう絶えず求められています。インテル社のテクノロジー向けに最適化されているデル・テクノロジーズのストレージ ソフトウェアであれば、お客様がこのようなニーズに対応しながら、生産性を高め、その格納場所に関係なく、データを基に、より効果的なインサイトが得られるようお手伝いできます。

ITインフラストラクチャの対応方法を見直す

現代のデータに基づく経済において、企業ではデータとそのデータを管理するITチームへの要求が高まっています。それに伴い、ITリーダーもデータストレージ インフラストラクチャに対する要件を増やす必要があります。

1. 運用の迅速化に向けたオートメーション



59%

データが「事業の要」であると答えた回答者の割合。



91%

過去3年間に、運用を迅速化させる必要性に迫られたと答えた回答者の割合。



67%

開発者または基幹業務チームをサポートするために、IT運用を迅速化することが求められていると答えた回答者の割合。

結果：

ITリーダーは、運用のシンプル化、オートメーション、および迅速化を実現するための、モダンなかつ自動化されたインフラストラクチャを求めています。

2. イノベーションに向けた保護



63%

過去12か月間にランサムウェアの標的となった経験があると答えた回答者の割合。



48%

攻撃を受けた組織のうち、実際にランサムウェア攻撃の被害を受けた組織の割合。



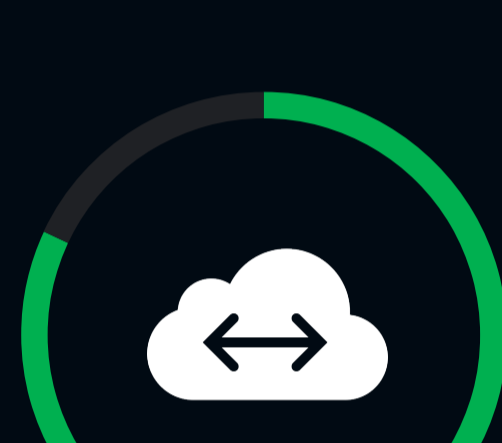
64%

攻撃の被害を受けた組織のうち、身代金を支払った組織の割合。

結果：

ITリーダーは確実にイノベーションを行い、リスクを低減するために、安全なITインフラストラクチャを求めています。

3. マルチクラウド インフラストラクチャのシンプル化



82%

複数のパブリッククラウドプロバイダーを利用している組織の割合。



58%

データセンターとパブリッククラウドの間で常または定期的にデータを移動させている組織の割合。



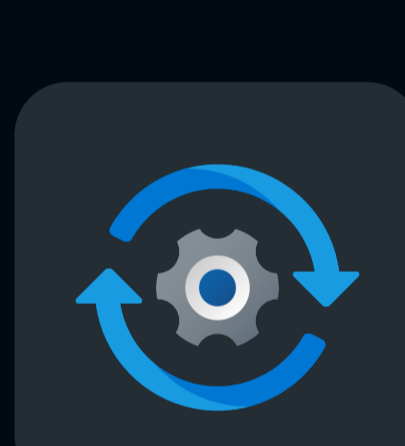
64%

ITインフラストラクチャの複雑さが運用とデジタル イニシアティブを遅らせていると答えた回答者の割合。

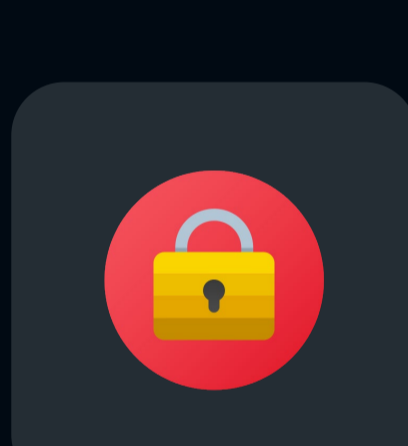
結果：

ITリーダーは分散マルチクラウド環境全体の敏捷性を高める必要があります。

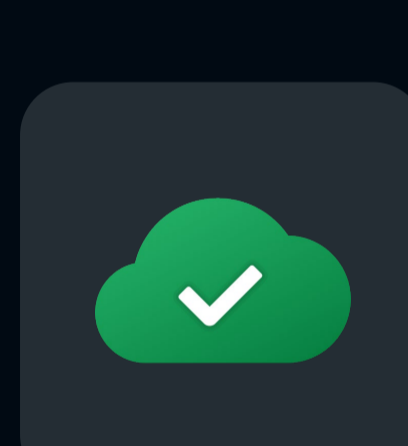
その答えこそが以下を実現できる継続的モダンストレージ



1. 運用のオートメーションと迅速化。



2. 統合型セキュリティ機能の提供。



3. 分散マルチクラウド環境全体での高い敏捷性の実現。

データセンターのモダナイズに対する注目度の高まり

ITリーダーは、パブリッククラウド サービスと効果的に統合でき、クラウドのような敏捷性に優れたエクスペリエンスを提供できるテクノロジーを使って、データセンター環境（データストレージ環境を含む）をモダナイズする必要があることを理解しています。



合計79%

以下に焦点を当てながら、今後3年間でデータセンターをモダナイズすると答えた組織の割合。

1. 妥当な場合に、ワークロードの一部をクラウドに移行する。
2. クラウドの接続性/相互運用性を改善する。
3. データセンターの運用をクラウドに近づける。

デル・テクノロジーズの継続的モダンストレージ

デル・テクノロジーズは、IT業界のリーダー的存在であり、ストレージ ソリューションを幅広く提供しています。その広範なポートフォリオは、ストレージ、サーバー、ソフトウェア、ネットワークなどのITスタック全体を網羅しており、組織が大局的な視点でITエコシステムをシンプルにしていけるのに役立ちます。

継続的モダン ストレージに対するDellの具体的なアプローチは、ソフトウェアのイノベーションに関する豊富な経験を生かし、オートメーション、セキュリティ、分散マルチクラウド環境をサポートする機能に重点を置いています。

オートメーション：
Dellのストレージでは、IT運用のオートメーションの鍵を握る、組み込み型のAIによるインテリジェンスを利用できます。また、Dell CloudIQは、インフラストラクチャの正常性、サイバーセキュリティ、パフォーマンス、容量をプロアクティブにモニタリングすることで、インテリジェントなインサイトを提供します。Dellは、このインサイトを使えば1週あたり1日分の管理時間を節約でき、価値の大きなタスクに割り当てられる時間が増えるとしています。

セキュリティ：
Dellが設計した、堅牢なゼロトラストセキュリティアーキテクチャに対応したPowerMaxは、世界有数の安全なミッションクリティカル ストレージであると考えています。PowerMaxは、データの分離と不変化により運用にエアギャップを確保するなど、先進的な機能を各種取り揃えており、ランサムウェア攻撃を含めたサイバー攻撃から組織を守ります。Dellによると、Dell PowerProtect Cyber Recoveryは最大99.5%の信頼性でデータの破損を検出できるといいます。

分散マルチクラウド環境に対応した設計
Dellが提供するストレージ ソフトウェアとDevOps製品は、主要なパブリッククラウド プロバイダーのいずれとも連携が可能であるほか、オンプレミスやパブリッククラウドでデータを管理できる柔軟性をも実現しています。Project Alpineでは、Dellのファイル、ブロック、オブジェクトのストレージ ソフトウェアをパブリッククラウドに展開できるため、パブリッククラウド サービスとDell Enterpriseデータ サービス（高可用性、スケーラウト、重複排除など）を組み合わせたユースケースにも対応できます。

さらに重要な事実

データの増加と多様化、そのセキュリティ確保、マルチクラウドの普及のいずれも、今や現実のものとなっています。今日の組織には、モダンITのこの種の側面をすべて最適化することが求められています。これはつまり、継続的モダン ストレージを至急活用する必要があるということにほかなりません。

ソフトウェアのイノベーションこそ、Dellが過去数十年にわたりストレージ市場のリーダーとして君臨してきた要因です。その意味では、同社が今後もインテル社の最新テクノロジーを活用したイノベーションを推進していくことは間違いありません。Dellはこれからも、お客様が明るい未来をできるだけ簡単に実現できるよう、大いにサポートしてくれるものと予想されます。

[ESGホワイトペーパーを読む](#)

[ビデオを視聴する](#)